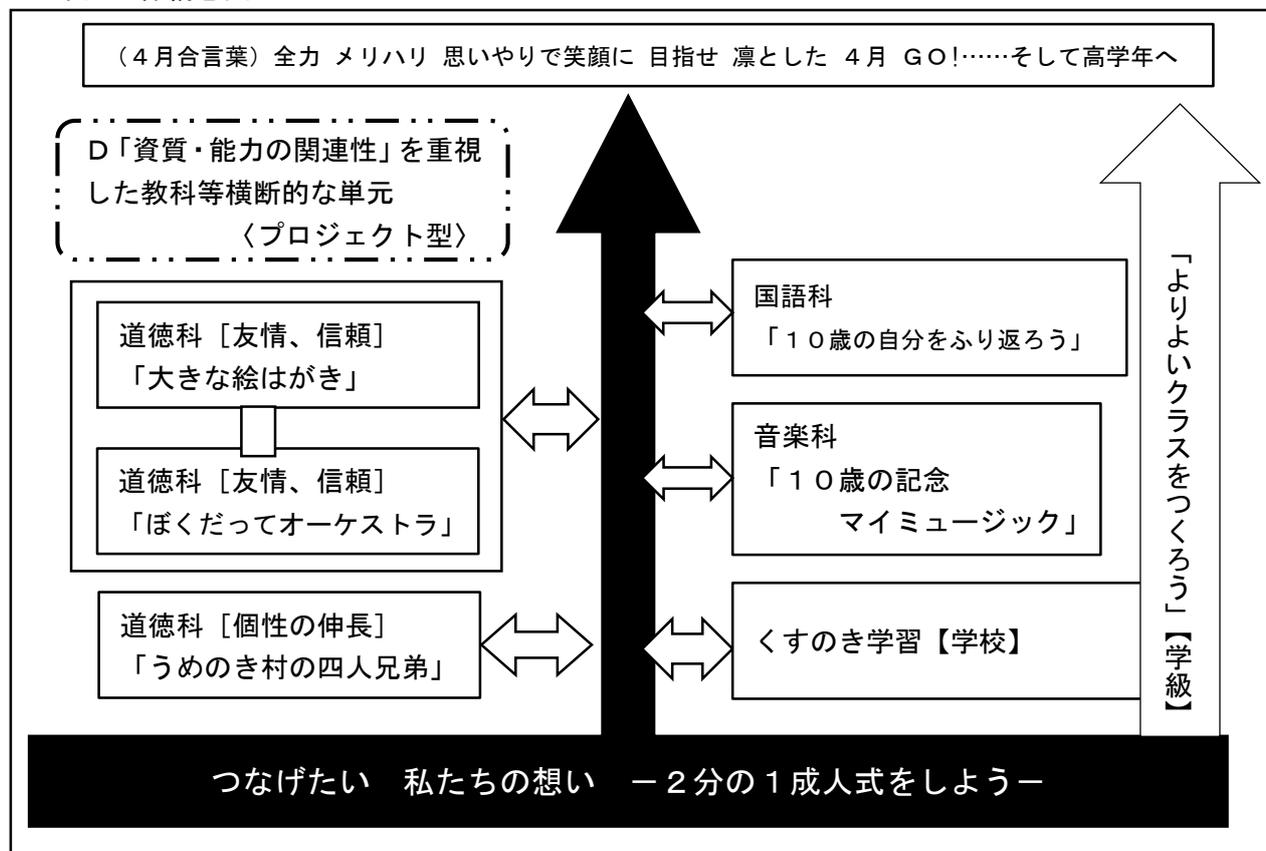


第4学年月組 くすのき学習【学級・学校】（+国語科・音楽科・道徳科）  
「つなげたい 私たちの想い -2分の1成人式をしよう-」 指導者 森田 宏美

1 単元全体構想図



2 単元構想について

本単元は、D「資質・能力の関連性」を重視した、プロジェクト型の教科等横断的な単元である。

本学級の子どもたちは、明るく素直で、みんなで話し合って決めたことは、多少苦手なことでも最後までやり抜こうと頑張る子どもが多い。この一年間、自分たちで考えた合言葉（全力・メリハリ・思いやりで笑顔に 目指せ 凜とした4月GO!）を基に、活動を振り返ってきた。そして、学級として成長したところはどこか、次はどういう思いを大切にしていきたいかを考えながら、思いをつないできた。学級で思いを共有してきたことから、子どもたちは自分たちで約束事を決めたり、活動を創造し実践したりするなど、自主的・実践的な集団として一生懸命取り組む姿が見られるようになった。また、仲間意識も強く、学校行事などに意欲的に取り組むこともできている。学校行事に向けての練習等でも子どもたちのアイデアを生かしながら自主的に行うなど協力体制もよくなってきた。

一方で、学級の成長についてはある程度感じているが、なぜ成長できたのか、きっかけは何なのかなどの意識は低く、自分の経験を有効活用することができていない。また、子どもたちは、仲間の成長にはよく気が付き、認め合っているが、自分の成長に関しては、今一つ自覚がない。自分自身のよさや可能性を客観的に認知し、生かそうとしている子どもは多くない。このことから、自己の生き方を考え、普段の生活の中で、学級の一員として自己の役割を意識しながら、学級での集団活動に主体的に参画する態度を育てる活動を行うことは大変意義深いと考え、本単元を設定した。

本単元は、自己のよさや可能性を伸ばし、将来に向けた自己実現を図るために、一人一人の主体的な意思決定を大切にする活動を中心に構想した。これは、個々の将来に向けた自己実現にかかわるものであり、一人一人の主体的な意思決定に基づく実践にまでつなげていきたい。そこで、これまでみんなで経験してきた全てのことは一人一人の成長のために必要なことであったということを再認識するために、一年間を振り返る活動を行う。経験した全ての思いは、結果的に自分たちの成長のために必

要であったと感じることは、これから先の子どもたちの未来に起こりうる様々な出来事を生き抜いていく上で、子どもたちにとって重要なことであると考え。一人一人が現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して物事に取り組むことは、「今の自分」に価値や意味を見いだすことにつながる。「2分の1成人式」は子どもたちにとって大事な節目の一つである。この節目の時期を利用し、「2分の1成人式」に向けて何か学級としてできることはないかを考えさせる。そして、他教科等との関連を図りながら、決まったことを実践する活動を行う。その活動を通して、子ども一人一人がなりたい自分になるために、学級にどのようにかかわっていくべきなのかをしっかりと考える。その後、活動の過程を振り返る活動を通して、子ども自身が自己の成長や変容を把握し、自分のしたことが学級の成長につながったことを実感する経験をさせたい。これらの経験が、子ども一人一人の将来直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、学ぶこと、働くこと、そして生きることについて考え、多様な他者と協働しながら、自信を持って自分なりの人生をつくっていく力を育む原動力となることを期待する。

### 3 単元のねらい

- 「2分の1成人式」を成功させるために、協力して話し合ったり活動したりする。
- 「2分の1成人式」に向けて、小集団や全体で話し合い、学級のために自分の役割を意識して自分ができることを意思決定する。
- 自分のよさや可能性を知り、これからの学級生活で生かしていこうとする思いを持つ。

### 4 単元の展開（9時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時数
出 合 い	<p><b>これまでの活動を振り返ろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの活動を通して、学んだこと、考えたこと、次に生かしていきたいことを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの成功体験を振り返ることで、課題に対する自信を深め、学習への意欲を持っている。</li> </ul>	1
追 究	<p><b>「2分の1成人式」に向けて計画を立てよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長した自分たちを表現できるようなことを考えながら、してみたいことを具体的に考える。</li> <li>○ なりたい自分になるために、どのようなことができるか目標を決める。</li> <li>○ 自分たちが具体的に決めたことを実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分と友達の考えを統合しながらよりよい提案をしようとしている。</li> <li>● 自分の役割を意識して、学級のために自分ができることを意思決定している。</li> <li>● 具体的な実践に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	7 本 時 その1
振 り 返 り	<p><b>活動を振り返ろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ よかったところや次に生かしたいところを具体的に考える。</li> <li>○ 振り返りを生かしてこれからの目標を再設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動を通して、学級で決めたことをやり遂げた達成感や、集団のために働くことの心地よさや素晴らしさを感じている。</li> <li>● 実践を振り返って、こうなりたいという思いを持って新たな目標を決めている。</li> </ul>	1

### 5 単元における指導の工夫

場面	三つの場面ごとの子どもと「つなぐ」指導の工夫（学習材・他者・自分自身）
出 合 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真や振り返り日記を見返す活動を取り入れることで、これからの学習活動に対する期待が持てるようにする。（学）</li> <li>・ これまで体験してきたことの思いを素直に表現できるように、自由に話し合える雰囲気づくりをする。（自）</li> <li>・ 「2分の1成人式」という行事を設定することで、成長した自分を見てもらうためにどんなことができるか、自分事として考えることができるようにする。（学）</li> </ul>

追 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2分の1成人式」をすることに目的意識を持たせることで、課題を自分事として考え話し合いたいという気持ちが持てるようにする。(自)</li> <li>時間や場所の確保をすることで、学級で決まったことに自主的・主体的に取り組むことができるようにする。(自・他)</li> <li>ファシリテーション・ツールを活用することで、自分の考えを広げたり、友達と考えを交流したりすることができるようにする。(自)</li> <li>意思決定した行動目標を教室に掲示することで、自分や友達の活動をいつでも確認することができるようにする。(自・他)</li> </ul>
振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価や他者評価を取り入れることで、自己を見詰め、自分の活動のよかったところ、見直すべきところについて考えることができるようにする。(自)</li> <li>自分たちが行ってきた活動について、定期的に振り返り、自分はどうかであったかを考えることで、自己の生き方について考えを深め、目標の再設定ができるようにする。(自・他)</li> </ul>

## 6 評価の具体的な方法

本単元を通して「深い学び」に達したとき、次のような姿が表れると考える。

○ 「2分の1成人式」を成功させるために協力して話し合ったり活動したりすることができている。(学・自)
○ 小集団や全体での話し合いの結果を受けて、4年月組のために自分ができることや役割を意識して意思決定し、進んで実践している。(自)
○ 「2分の1成人式」に向けて努力したことが、他者から認められる経験を味わい、自分のよさや可能性を、残りわずかになった4年月組での学級生活で生かしていこうとする気持ちを持っている。(自・他)

### (1) 空間軸から見た手立て

#### ア 指導者評価

上記のような姿が表れたかについて、空間軸をつなげて、多面的に見取るようにする。

視 点	方 法
○ 子どもたちは、課題を自分のこととして考えることができているか。	ワークシート、 ファシリテーション・ツール 発言、様態
○ 子どもたちは、自分が意思決定したことを実践しようとしているか。	
○ 自己評価や他者評価を次の実践に生かそうとしているか。	

#### イ 子どもによる自己評価

授業の終末に、自分の学び方がどうかであったかについて、ワークシートを用いて振り返る時間を設ける。各項目5点満点で自己評価を行うようにする。自由記述の欄も設け、なぜそう思ったのか、次はどうしていきたいかなど、自分の成長に対する思いが書けるようにする。教師は、数値が変化した理由について考えたり、個別に子どもに話を聞いたりして、授業改善につなげる。

視 点
○ 自分の思いや考えを伝えることができたか。
○ 友達の話をよく聞くことができたか。
○ 学級がよりよくなるために、テーマについてよく話し合い、考えを深めることができたか。
○ なりたい自分になるために、学級を意識しながら目標を具体的に考えることができたか。

### (2) 時間軸から見た手立て

これまで書いてきたものを読み返したり、学級でまとめた掲示物を見直したりして、これまでの自分や他者の思いや考えを振り返る機会を設ける。そして、その時の自分を今の自分と比較し、自分に変容があったか考えさせることで、自分の成長に気付かせる。自分の努力が学級という集団の成長につながったことを実感することで、集団のために働くことの心地よさや素晴らしさを感じ、これからは集団のために主体的に行動していこうとする態度を育てる。

7 本時の授業 (2/9)

- (1) 日時 令和2年1月31日 (金) 11:30~12:15
- (2) 場所 4年月組教室
- (3) ねらい 話し合い活動に積極的に取り組み、「2分の1成人式」に向けて期待感を持つ。
- (4) 準備物 ワークシート 写真 ファシリテーション・ツール (ホワイトボード、付箋紙) キーワードを書いたカード

(5) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導 (○) と評価 (●)
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 「2分の1成人式」の計画を立てる。 (グループ)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(全体)</p> <p>3 今日の話合いを振り返る。</p>	<p>「2分の1成人式」では、このことを大切にしよう。</p> <p>・挑戦することだよ。 ・4月らしさを大切にすることだね。 ・努力することだね。</p> <p>「2分の1成人式」ですることを決めよう。</p> <p>・今まで学習してきたことを生かしてクラス合唱に挑戦したいな。 ・今までの自分たちの歩みを劇にしてみたいな。 ・今までしたことないことに挑戦したいな。 ・自分の成長についての作文を書きたいな。 ・ドミノ倒しに挑戦してみたいな。 ・30人31脚はしてみたい。</p> <p>みんなで考えよう。</p> <p>・全力が出せそうな気がするので30人31脚がいいと思います。 ・4月の頑張りが表現できるので劇がいいと思います。 ・努力すればできそうなので縄跳びがいいと思います。 ・30人31脚は難しいと思います。</p> <p>決まったことを整理しよう。</p> <p>・作文発表はできそうだ。 ・劇は参観日に式典のようにしてやりたいな。 ・30人31脚は学年でやってみたいな。</p> <p>「2分の1成人式」が楽しみだ。</p>	<p>○ 活動を決める根拠となるように学級としてどのような思いを大切にしていきたいのかを確認する。</p> <p>○ 活動の見通しが持てるように具体的な期日などを知らせる。</p> <p>○ 話し合いが活発になるように、ファシリテーション・ツールを活用する。</p> <p>○ 意見を伝え合う場面では子どもたちの思いを尊重し、自由に発言できるようにする。</p> <p>○ 自分との共通点や相違点を考えやすいようにメモ欄を設け、その都度記述できるようにする。</p> <p>○ これまでにお世話になった方からのビデオメッセージを聞き、意欲を高める。</p> <p>○ 子どもの思いや期待感を大切にするために、出た意見を尊重しながら、話し合いをコーディネートする。</p> <p>● 全体を通して、積極的に話し合い活動に組み、「2分の1成人式」に期待感を持つことができたか。</p> <p style="text-align: right;">【様態・ワークシート】</p>

